

〔例題 1〕 睡眠と脳波に関する次の文中のア～ウに入る語がいずれも正しいのはどれか。

覚醒中の脳波は振幅の小さい速い波が主成分であり、これを [ア] と呼ぶ。目を閉じ安静にしていると、[ア] よりも少し振幅が大きく、速度も少し遅い [イ] が出現する。また、うとうと眠り始めると [イ] は減少し、やがて消失して、さらに振幅が大きく、速度も遅い [ウ] が出現する。ただし、この状態ではまだ熟睡状態ではなく、浅い眠りの状態である。このように脳波は、眠りにしたがって振幅や速度が変化する。

- | | ア | イ | ウ |
|----|------------|------------|------------|
| 1. | α 波 | δ 波 | β 波 |
| 2. | β 波 | α 波 | θ 波 |
| 3. | β 波 | δ 波 | α 波 |
| 4. | θ 波 | α 波 | β 波 |
| 5. | θ 波 | δ 波 | α 波 |

〔正答 2〕

〔例題2〕 次のうち推論の種類の一つである演繹的推論の例として妥当なのはどれか。

1. Aさんは、初めて訪れる国で、数人の陽気な人と話をして、「この国の人は陽気だ」と推論した。
2. B高校新聞部では、ランダムに選んだ50人の生徒に取材して得た情報をもとにして、生徒会長候補者の当落を推論した。
3. ある幼児が「おなかがすくと元気がなくなった」という経験から、「植物に水をあげないと枯れる」と推論した。
4. Cさんは「鉄は電気を通す」という法則を知っており、ある物体Xが鉄であることを知ると「物体Xは電気を通す」と推論した。
5. ある小学生が、生活経験で得た水圧と水流の関係に関する知識から、電圧と電流の関係について推論した。

〔正答4〕

〔例題3〕 テッサー (Tesser, A.) の自己評価維持モデルを支持する現象として妥当なのはどれか。

1. 他者に対して明るく外向的に振る舞ったあと、自分自身に対する評価が普段よりもより明るく外向的になる。
2. 自分にとって重要な領域の成績が他者に比べて劣っているとわかったとき、その他者を自分から遠ざけようとする。
3. 自分の存在や言動が、実際以上に他者から注目され、覚えられていると認識する。
4. 自己評価をする際に、正しく自己評価をするのではなく、現実よりも好ましい方向へと歪める。
5. 過去の自分を実際よりも低く評価することによって、現在の自分の自己評価を高く保とうとする。

〔正答2〕